



# 大野北公民館利用協通信

## 第37回 公民館まつり 特集

### みんなで知恵を出しあって・・・！

実行委員長 安達 和夫

第37回公民館まつりは、6月15日午後から17日までの3日間で行いました。日頃の学習・活動の成果を発表し、地域に還元するステージ、多様な事業を短期間で同時に行う、これが「公民館まつり」ですね。

今年は若いスタッフ(役員、幹事)も、多数、加わって頂き、新たなアイデアも取り入れ、また一步、進化したのになりました。公民館は、この6月から有料化されましたが、公民館まつりは、やはり一般の貸館とは違う側面を持つ素晴らしいイベント！と思いました。

また今年度、新たに就任された館長、館長代理も含め、公民館職員の方々の支援をいただき、感謝申し上げます。



押し花体験コーナーより

### 【活動展示部門からの報告】

「おおのきた公民館まつり感想文」

秋津書道会 三浦 満里子

一年に一度、公民館まつりに作品を提出する為に、4、5月と文字を決め稽古を繰り返して清書、表装するのですが、もしも、まつりに参加しなければ、作品作りをする事もないと思います。

発表の場を与えていただけて、文字と向き合う時間を持てました。大勢の方に見てもらえる事もできて、公民館まつり、とても楽しかったです。



ロビーでのお出迎え

### 【文芸美術展示部門からの報告】

「展示を終えて」 小林 利恵子

今年も14グループと活動コーナーの写真展と大盛況で終わる事が出来、まずまず肩の荷を下ろしております。

若干疏通の甘さから問題点も有りましたが、今後の反省点にして前向きに進めたいものです。

展示の教室で、体験コーナーが行われ、なかなかの盛り上がりでした。又売上げ金は、震災等の義援金に届けられるようで、なんて素晴らしい事でしょう。

最後に、準備でパネル搬入そして設置・搬出等に大勢の手助けのお陰があって、スムーズに終わる事が出来て、感謝の気持ちで終わります。



活動展示コーナーより

### 【学習会からの報告】

「みんなで考えるこれからの大野北」

副実行委員長 緒方 祐美

今年の学習会はタイトルを「みんなで考えるこれからの大野北」として、新聞やテレビでも取り上げられ、話題となっている【淵野辺駅南口再整備計画】についてを知ると共に、【まちづくり】について参加者みんなで考える場に来るよう企画しました。

構成は3部構成。

- ① 淵野辺駅南口再整備の内容を動画で確認
- ② まちづくりについての講演会
- ③ ワークショップ

講演は、雑誌「ランドスケープデザイン」編集・発行人の丸茂喬さんと、多くの自治体でまちづくりアドバイザーなどを務める保清人さんにお願ひしました。まちの風景について、公園を核としたコミュニティ作り、公園の使いたおし方、人が集まり賑わうために必要なこと、そしてまちづくりを行政任せにせず如何に「自分事」として捉えられるかなど・・・内容盛りだくさんでお話していただきました。

それらの話を踏まえてのワークショップ。地域の魅力や課題、自分に何ができるのかなど、参加者の皆さんで一緒に様々なアイデアを出し合う事が出来ました。

自分の住むまちのこと。どんなまちに住みたいのか。参加された皆さんがそれぞれ見つめ直す機会になったと思います。



学習会コーナーより

## 【キッズ部門からの報告】

「キッズコーナーを終えて」

保育スタッフ 荒武 素子

生憎の天気にも関わらず、今年もキッズコーナーは多くのお子さんたちの笑顔で溢れていました。スタンプラリーのお陰で全てのコーナーが賑わいました。

特に牛乳パックのかご作りや折り紙のコマ作り、木っ端工作などは手のかかる作業が多かったのですが、どのお子さんも最後まで一生懸命取り組んでくれました。

毎年このコーナーに参加させてもらっていますが、お子さんたちの笑顔が嬉しく、頑張るエネルギーになっています。



キッズコーナーより

## 【屋内・屋内ステージ部門からの報告】

「屋内事業(活動発表)」

ニュースイング 河西 松枝

リーダーと言っても名ばかりで、皆が経験を積んで仕事内容を把握しているので、楽でした。天候がちょっと悪かったが、暑いよりはよいか？ 風船飾り、壁などに貼った花火や鯨の掲示物の見事さ。バザーの売り娘さん達の明るい声。変わらぬ美味しいうどん。楽しかったです。

原案を練る方もサポートする方も大変だったと思います。そして最終日には、見事に状態を復元し、ヤツタの気分です。サガミンちゃんも有難うございました。



ダンス交流会より

## 【屋外・屋外ステージ部門からの報告】

「おおのきた公民館まつりに参加」 桑原 均

利用協に入り、初めて公民館まつりに参加し、屋外と屋外ステージを担当しました。

公民館まつりが開催されると実際の運営と流れ等が解らず大変でした。

3日間にわたり公民館まつりは開催されましたが、各サークルの皆さん、実行委員、担当者、公民館職員さん等の協力により滞りなく出来たと思います。

特に模擬店等の TENT 張り と パネルの搬入、片付けは大勢の方の協力が必要だと思いました。

その中、桜美林大の学生の皆さんには TENT 設置からパネルの片付けまで協力を頂き、大変助かりました。お礼を申し上げたいと思います。

また、公民館まつりで利用サークルの皆さんが、日頃の活動成果を発表し、地域住民の皆さんとふれあい、交流できることは大変素晴らしい事だと思いました。

私自身、公民館まつりを通じ利用サークル並び地域の皆さんと交流ができ大変勉強になりました。

反省ですが、屋外 TENT 等の設置でご迷惑をかけたと思いますが、この場をかりお詫び申し上げます。

最後になりますが、おおのきた公民館まつりの繁栄を期待します。



模擬店コーナーより



桜美林大学 エイサー



共和中学校 吹奏楽部

## 【音楽のつどい部門からの報告】

GALAX-SING 緒方 祐美

今年の音楽のつどいは、全員合唱からスタート。「中央区の歌」と「365歩のマーチ」を会場の皆さんと一緒に歌いました。

今年の参加サークルは14組。毎年のことながら、バラエティに富んだ顔ぶれで、大野北公民館が賑やかで豊かな人材の宝庫になっていることを実感しました。

音楽とは関係ないのですが、今年はステージ上の吊り看板を新調しました。昨年、演奏中に看板が落ちるといったアクシデントがありましたので、そのような事がないようにしっかり設置。新しい看板に描かれたデイラちゃんがにこやかに出演者とお客様を見守ってくれました。

反省点はステージの入れ替え時の人手が不足していたこと。参加者みんなでアイデアを出し合って改善に努めたいと思います。

## 【芸能のつどい部門からの報告】

朋游会 青山 英俊

6月16日は梅雨の最中、案の定、朝からしとしと雨が降り、おまけに梅雨寒で上着の必要な気温、条件はかなり厳しいと心配だったが、役員スタッフは8時半出勤で用意万端整え10時開演を目指す。全員参加による「ふるさと」の合唱から開演、直後は流石に満席とは行かなかったが、プログラムの進行に従い入場者が増え中盤で満席となり、フラ・ベリーダンスの頃にはなんと立ち見が出る盛況、舞踊・民謡・雅楽・尺八・オカリナ出演者は日頃の練習の成果を発揮し、入場者を喜ばせました。ちょっとしたハプニングもあり盛り上がりました。このような催しはずっと続けてほしいですね。



## チャリティ募金、有難うございました！

(利用サークル協議会)

皆様から物品をご提供頂いた利用協バザー、売上金 54,540 円をあげることが出来ました。うち 5,000 円を災害義援金に拠出し、残額は利用協の運営資金として活用させていただきます。有難うございました。



バザーコーナーより

## 災害義援金募集結果のご報告

(まつり実行委員会)

今年も 7 回目の義援金募集を行い、総額 25,665 円の募金を頂くことが出来ました。内訳は、模擬店等に参加頂いたサークル・団体（エンジェル、ゆうゆう押し花、青少指、利用協バザー、まつり実行委員会/飲物、軽食販売）から 16,189 円、募金箱には 9,476 円のご提供を頂きました。この義援金は熊本県（熊本地震）、岩手県大船渡市（東日本大震災）、福岡県朝倉市（朝倉水害）に、ほぼ等分して送付させて頂きました。



飲み物販売&募金コーナーより

## 編集後記

ご提供下さった飲み物を冷やす為の氷・パネルの片付け etc、どれをとっても皆様のご厚意と協力の上で成り立っている事を忘れてはならないと思った。今回初めて作製した公民館まつりに関する掲示物、おのれのセンスの無さは早く忘れたいと思った…。サークルで活躍される皆様方の才能にただただ感服。

尚、今回の公民館まつりの模様は、下記の動画で配信しております。ご覧ください。



総集編



総集編(2)



屋内編



屋外編



音楽のつどい



芸能のつどい



でいらちゃん

また来年も遊びに来てね♪

